

2021年4月27日

小さな実に栄養がギュッ！

ミニトマトの出荷が最盛期を迎えます

【5月18日（火）／碧南市内で収穫風景を紹介します】



J Aあいち中央管内で栽培されているミニトマトの出荷が最盛期を迎えます。当 J A管内では、碧南市や安城市を中心に約 30 軒の生産者が施設（ハウス）で、約 230 軒の生産者が露地でミニトマトを栽培しています。ほぼ一年を通じて栽培されるミニトマトですが、日照時間も長く気候もよい 5 月上旬～6 月中旬にかけて収穫量が増えてきます。

J Aのファーマーズマーケットには、定番の赤く丸型のもの以外にも、プラム型のミニトマトや黄色のミニトマトなど、生産者こだわりのバラエティに富んだ品種・ブランドのミニトマトが並びます。最近では、高糖度のフルーツトマトも多く出回り、来店者からも好評です。



ミニトマトは大玉のトマトに比べて、カロテンやビタミン C、カリウムなどが豊富で、小さな実にギュッと栄養が詰まっていると言われています。

<メディア対応日>

■日時：2021年5月18日（火）／午前8時30分集合

■場所：J Aあいち中央でんまあと安城西部集合（安城市福釜町釜ヶ渕1-1）

※当日は、碧南市内のハウス（車で約10分移動）での収穫風景と J Aでんまあと安城西部の売り場を撮影いただけます。



（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、山村、杉浦）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3485／E-mail：kouhou@jaac.or.jp